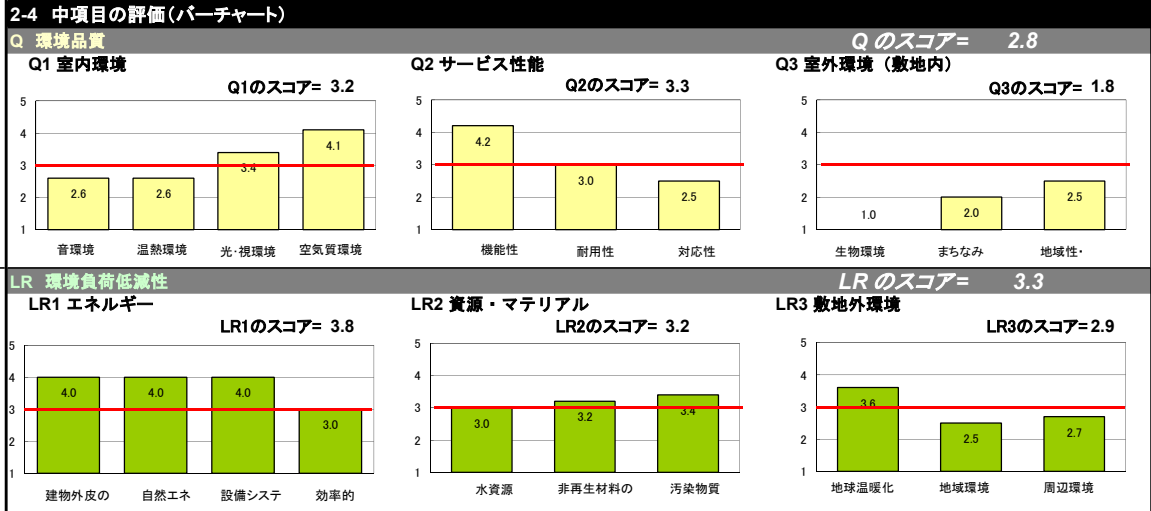
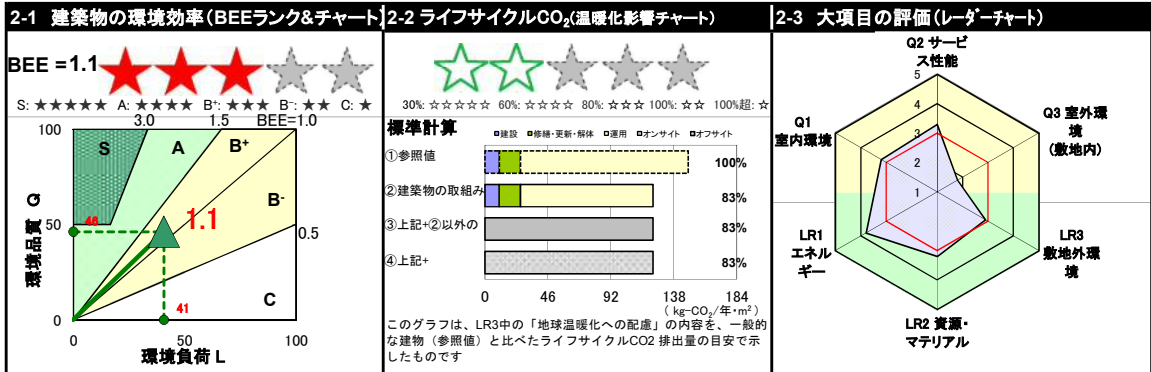


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社介護センターはなたば	階数	地上2F
建設地	愛知県海部郡蟹江町大字須成字西	構造	木造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	57人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	2,749 m ²	作成者	片岡達哉
建築面積	1,249 m ²	確認日	2016年8月1日
延床面積	2,468 m ²	確認者	片岡達哉



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音			2.6	0.15	2.6	1.00	2.6	
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.40		
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境								
2.1 室温制御			2.6	0.35	2.6	1.00	2.6	
1 室温			3.0	0.50	3.0	0.50		
2 外皮性能			3.0	0.38	3.0	0.57		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.25	3.0	0.43		
2.2 湿度制御			3.0	0.38	-	-		
2.3 空調方式			1.0	0.20	1.0	0.20		
			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用			3.3	0.25	3.5	1.00	3.4	
1 昼光率		全て自然採光	4.2	0.30	4.2	0.30		
2 方位別開口			5.0	0.60	5.0	0.60		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御			3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		過度な照度にしない	3.0	0.15	4.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策			4.0	0.25	4.3	1.00	4.1	
1 化学汚染物質		原則化学汚染物質は使用しない	5.0	0.50	5.0	0.63		
4.2 換気			5.0	1.00	5.0	1.00		
1 換気量			3.0	0.30	3.3	0.38		
2 自然換気性能		出来る限り自然換気を採用	3.0	0.50	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ			-	0.30	-	-	3.3	
1 広さ・収納性		適切な広さ・収納性を確保している	3.8	0.40	4.6	1.00	4.2	
2 高度情報通信設備対応			4.0	0.40	5.0	0.60		
3 バリアフリー計画	独自	バリアフリー法基準を満たしている	3.0	-	5.0	1.00		
1.2 心理性・快適性			4.0	1.00	-	-		
1 広さ感・景観		適切な広さ感・景観に配慮している	4.0	0.30	4.0	0.40		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	4.0	0.50		
3 内装計画		落ち着いた感じの内装計画を採用	4.0	1.00	4.0	0.50		
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		配管類の更新に配慮	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震			3.0	0.31	-	-	3.0	
1 耐震性			3.0	0.48	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.80	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		30年程度	3.3	0.33	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		4.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年程度	3.0	0.23	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		15年程度	4.0	0.09	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			4.0	0.08	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-		
2.4 信頼性			3.0	0.23	-	-		
1 空調・換気設備			2.8	0.19	-	-		
2 給排水・衛生設備	②		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備			2.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり			2.6	0.29	2.4	1.00	2.5	
1 階高のゆとり			1.8	0.31	1.8	0.50		
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.60	3.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性			3.0	0.31	3.0	0.50		
1 空調配管の更新性	②		3.0	0.38	-	-		
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性			3.0	0.17	-	-		
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性			3.0	0.11	-	-		
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-		

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
		Q3 室外環境(敷地内)						-
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.66		4.0	0.30		-	4.0
2 自然エネルギー利用		採光・換気は原則自然エネルギー利用		4.0	0.20		-	4.0
3 設備システムの高効率化				4.0	0.30		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率機器の採用		4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)					-		-	
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-		-	
4.1 モニタリング					-		-	
4.2 運用管理体制					-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.63		-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.09		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	-		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自	-	ボード	3.0	0.26		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.26		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.07		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		躯体材・仕上材が分別可能	4.0	0.32		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.4	0.22		-	3.4
3.1 有害物質を含まない材料の使用			原則有害物質を含む材料は使用しない	5.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.68		-	
1 消火剤				2.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-	
3 冷媒				3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33		-	3.6
①		ライフサイクルCO2概算値:83%		3.6	0.33		-	
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	独自			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音	独自			3.0	0.33		-	
2 振動	独自			3.0	0.33		-	
3 悪臭				3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のつららに漏れる光への対策				1.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

(仮称)株式会社介護センターはなたば様 有料老人ホーム

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.2	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)株式会社介護センター

計画上の配慮事項	
総合	自然エネルギーを最大限に活用し、安全で使いやすい施設となるよう配慮した。
Q1 室内環境	適切な温度管理ができるよう、個別空調を採用した。
Q2 サービス性能	極力無駄のないレイアウトとした。
Q3 室外環境(敷地内)	中庭を作り、憩いの場を提供できるようにした。
LR1 エネルギー	外皮の断熱性能を適切にしたうえで、出来る限り自然エネルギーを活用できるようにした。
LR2 資源・マテリアル	出来る限り有害物質を含む材料を使用しない。
LR3 敷地外環境	大気汚染、騒音等 周囲の環境に悪影響を及ぼすことの無いよう配慮した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。